

島興隆

瀬戸内海に浮かぶ豊かな島・姫島にも過疎化の波が押し寄せている。水産業、観光業、そしてジオパーク。姫島が持つ素材の可能性をいかに伸ばし、島の振興につなげるか。「経済を発展させ、子どもたちが帰って来られる島にしたい」。熱い思いを胸に多分野で活動する若手リーダーが集合し、島の未来を語った。



島全景

やらされた感捨て楽しもう

活気がなくなった感じ

小林 テーマは島興隆。姫島の人にとっての豊かさをどうつくるかを話していきたい。ざっくばらんにお話いただいて、予想しない話が飛び出せばうれしいです。

小島 姫島に帰って18年になりました。人口が少なくなり、活気がなくなったように感じます。民間と一緒にやって島のためにできないかなと常々思っています。

小岩 姫島村商工会青年部の部長をしています。本業は造船ですが、「姫島宣伝隊」と名乗って全国で特産品を売っています。姫島はポテンシャルが高い。でも、人口が減っていくにつれて今までの事業をやらされた感があるなど。何か面白いきっかけができないかと考えています。

常盤 姫島トレジャーハンター実行委員長をしています。本業は国東市の消防署で、姫島出張所に勤務して5年になります。姫島を活性化してここで面白いことをしたいと思って姫島トレジャーハンターをつくって活動しています。

桜井 本業は葬祭業を営んでいます。盆踊りの指導もしています。

恒賀 島によく来るようになって3年ですが、初めてきたのは3年前。本業は県庁です。将来は姫島に来たいと本気で思っています。「興隆」の隆の字は中に生きている入っているの、今から姫島を生きた人たちの面白い意見がたら面白いと思います。よろしくお願ひします。

面白くないと続かない

小林 小岩さんは島のポテンシャルが高いと話されました。例えば、どういったところが。

小岩 この小さい島の中に食があり、ジオパークがあり、海があり、七不思議もあります。でも、一番は人。人が面白いかなと、観光で行くのであれば、落とすところを人に求めているのでは。そこをまだ姫島は全然使っていないので、そこからスタートすると面白いなど。

常盤 面白い、というのが一番大事ですね。やる側も受ける側も面白くないと続かないし、魅力がない。

恒賀 盆踊りは地区ごとで全然違う？

桜井 違う。盆足は基本同じだけれど、創作踊りや伝統踊りがあるし。ただ、子どもが少いから維持が難しいんですよ。

小岩 盆踊りの方向性を決めるのも大事じゃないかな。観光なのか、島の文化を残すのか。このままだと衰退するしかないと思う。

恒賀 方向性、大事な。本来は先祖の供養が趣旨だけれど、今は観光の方が大きい。観光なら観光客と一緒に踊ってもいいのかもしれない。

桜井 例えば歌舞伎のようなメークもある。お化粧がしたいという観光客はよく来るんですけど、場所を設けてメークをして衣装を貸す場所があったらいいかもしれません。

伝統か観光かあいまい

恒賀 姫島の盆踊りは金を取らないのはなんですか？

小島 姫島にはお金を取る習慣がないから、お金を取ることに抵抗がある。供養やけんお金を取るのやわらか、両立って難しい。

常盤 中途半端な観光になっている感じがします。

恒賀 盆踊りは全部で何種類？

桜井 けっこうあるよ。

常盤 50種類以上はあると思う。

恒賀 実際よりよんのは半分以下と聞いたこと

がある。消えていったかな。

桜井 観光客相手にするためにいろいろダメなことが増えて。例えば昔はみんなで飲みよって、「このまま踊りに行こう」みたいな、「暴れん坊」という踊りの間のつながりがあった楽しかったな。

常盤 そうそう、昔の盆踊り面白かったよ。

小岩 地域の人の楽しみやつたけん。見せようとするから規制が入っておかしくなるんよな。

恒賀 地域で生きるための大事なことが出てきたな。伝統か、観光か。

小岩 盆踊りは地域のために大切なことやけんな。

役場が先になっている

小林 大事なところは地域の人にとって楽しいかどうか。盆踊りに限らず、他でも言えるのでは。トレジャーハンターはどうですか？

常盤 両方ですね。自分たちも、来てもらう人も楽しめないかと続かないです。ただ、自分は全力でやりたいけど、本業もあるし、お金も絡んでくるのでなかなか難しいです。

小岩 島の人間にこだわらなくても外の人も協力してもらいたいと思う。

常盤 自分も参加してみて、やらされるのが嫌やった。もっと楽なやり方で、好きなように好きなことを、圧力なく、やりたいなど。

恒賀 フランクにやれるものって続く。自分が負担なく、楽しめるものが地域で楽しんでいるものなんだろうな。

小岩 トレジャーハンターには目的がある。目的がないイベントならみんなで話し合わない。

小島 行政が主導のイベントが多いからかな。

小岩 車えび祭、カレイ祭に来て、盆踊りは来な

い人もいる。でも、昼の盆踊りは全然違うのに。

桜井 そうそう。夜と昼は全然違うね。

小島 主催者にもそういう思いがあるけれど、届いていないのかな。

桜井 届けようと思っても届かないのかもしれない。

恒賀 本来、行政はサポートする方。

小島 情熱を持った人がいれば役場も熱が入るけど、どうしても役場が先になっ

ていいるからおかしいことになるんよな。

小岩 民間だけが突っ走ってもダメやし、行政だけが走っても限界がある。折り合いは、本気でぶつからないと見つからないと思う。

小島 本音を聞く場があるな。

若い人たちが育てない

小林 「やさられた感」というキーワードが出ました。

恒賀 姫島がいろいろと思うのは、みんな島が好きどころ。でも、課題意識を持っていないと方向は決まらないし、地域は変わらん。

桜井 われ聞せず、誰かがやると思っている人多いけんあ。

小島 変わろうと思ってる人は確かにいる。

恒賀 内圧的なものと外圧的なものと当然あって、今頑張っている人も10年たったら年を取る。若い人を育てない。

桜井 もっと若い人の感覚を取り入れないと。今の考え方を入れないと姫島は取り残される。

小岩 自分たちの子どもが残れるのかどうか。帰りたいくらいならそれはいい。でも、帰りたいけど帰れないというのが一番つらい。

恒賀 この場を残す、その上で雇用を、という2段階ではない。

小岩 そうなったら産業とか、雇用とかの話に

なるよな。自分の子どもが帰れる場所があるように頑張りたい。

小林 小さいお子さんがいる方が多いですね。自分の子どもが帰れる場所として、どういう島だったらいと思ひますか。

小岩 子どもが生活できたらいいな。そこがラインかな。普通に生活できて、年をとっても一緒にいれる。

常盤 それが理想やな。

恒賀 ジオパークのプレゼンテーションには「島の継続的な発展」がある。今の基幹産業は車エビの養殖だけれど、新しい産業って出てくるんやろうか。問題提起につながるな。

小岩 6次産業は可能性はあるかなと。

アドバイザー
地域連携研究コンソーシアム大分講師
恒賀健太郎 さん

オンリーワンの可能性

小林 エビ養殖も昔からやっているわけではなく、塩田の後にできたわけですね。今は気付かないものでも見つかる可能性もあるのでは。

恒賀 塩田は専売公社が廃止になって、国が姫島振興を切り捨てた最初の施策。姫島だって、最初は苦労を重ねている。

小岩 車エビはこの島であの規模はすごい。オンリーワンの産業になる可能性があると思う。いい武器はあるんよ。姫島＝車エビのイメージは強い。水産をもっと出していいのかもしれない。

小林 武器はあるけど使えていない。

小岩 親の世代は切羽詰まっていらないと思うけれど、数字を見たときに俺らの世代は気付かないといけない。足をすくわれると思う。

小林 人口はどれくらい減っているんですか。

小島 昭和55年は約3千人。一番多いときは約4千人で昭和30年くらい。高齢化率も高い。人口は何百人単位で減っている。

常盤 子どもは今、1学年10人前後ですね。

小岩 10年後の成人になる人口はもう見えている数字。観光客がどうなるかは分からんけど、泊まる所は少なくなるでしょう。

恒賀 宿泊施設がなくなると、仕事でどんどんなくなる。

桜井 そうなったら観光を増やさんと。

小岩 来る観光なのか、泊まるための観光なのか。来るだけの観光なら今と一緒や。利益になって、続けて後継者をたてようとならない。

桜井 盆踊りの話、この旅館に泊まれば踊りが来るとかできかなか。女将(おかみ)の会が踊りを教えてくれるけど旅館に反映されていらないと思う。

小岩 どれくらい本気かが大事。頑張る人のための組織があるといひ。

恒賀 中と外で頑張る人がいると変わっていく。外にも味方を作らんと。

小島 中だと分からないことも多いけんな。

恒賀 外の意見を中心にフィードバックさせられる人がおらんと盛り上がりらん。

小岩 民間が盛り上がり行政も動いてくれるようになる。

小島 ない。背中を押せんからな。頑張る人がいたら押せるけど。昔からの気質で保守的のうか受け身なんよ。

地域と交わる場所ない

小岩 変わらんでいい人もおらんよ。でも、どこかで話し合いをせんと。このまま行くと困る。

恒賀 地域が崩れていくとき、最初に崩れるのが伝統文化。子どもがおらんくなったら盆踊りもで

きのやけん。

小林 外からの視点も大事という話ですが、実

際、今は外の目はあるんです。観光客の反応は。

小岩 今は観光バスがどんと来て、帰って。そして「何もない」と言われる。接する時間がないからだと思ひ。

恒賀 ツアーが浅いんよな。地域のコーディネーターというか、地域と交わる場所がない。

常盤 それがあるだけでも全然違う。

桜井 姫島にちょっと寄ってでなく、泊まりを姫島にしてもらうにはどうしたらいいん？

小岩 泊まるのにも目的がある。別荘に泊まるのは温泉があつて飲みに行けるから。

桜井 自分たちで何とかせんと、という話ですが、宴会の中に入っていくのはいいかな。自分が入っていく分にはやらされる感はないし、むしろやっちゃおっかな、という(笑)。

小岩 でも、ほとんど宣伝していないのに観光客が来ている島ってあまりないと思う。

小島 宣伝広告費はほとんどありません。

恒賀 姫島のスペックはすごく高いのに、引きつけるものを生かし切れていないんよな。

小岩 日帰りだと分からないまま帰ってしまふ。もったいない。

恒賀 でも、島に変わろうと思っている組がいて、変わる瞬間に立ち会う子どもたちが育っているのがうれしい。だからその芽を摘まないでほしい。

小岩 今、いい意味のスタートライン。姫島は今からスタートや。

子どもの居場所つくる

小林 頑張りよん人がいるのは近くにいと触れられる？

小島 仲間が必要。1人じゃ頑張れけんけん。

小岩 共感してくれる人を増やしたい。ジオパークの認定など、いい流れにはなりよん気がする。

桜井 トレジャーハンターは？女性だけのツアーとかもいいんじゃない。

常盤 トレジャーハンターは触れ合いがメイン。島コン(島に來んかえ)も考えたけど、実行に至っていない。したいな、そういうの。

恒賀 姫島に自分たちで動く受け皿を作ってその人たちが盛り上げていったらいいんじゃないかな。一緒にやろう。

小岩 NPO的な受け皿でもいいしな。

小島 みんなが思いを言う場がなかったからな。飲んでいても、なかなか現実につながらない。

常盤 テーマを持った話し合いはないな。飲み会があるけど。

恒賀 段階的にこのメンバーが各部に出掛けて行って、語り場を提案していったらいいんじゃないやろうか。これを通して何をするかという、10年20年続く姫島になっていくための話をすんや。

小林 子どもたちのためのもの。本気になる、本気で話し合える場を続けていくという感じですかね。ミライキーワードはどうしますか？

恒賀 脱やらされた感!っどう？

常盤 現状を表していると思う。裏を返したら自分でやれ、という。

小林 島の人とはっとするかもしれないね。

常盤 みんなのハートの中にある言葉やな。

恒賀 求めているものは地域を守っていくって、子どもの居場所をつくと、姫島というフィールドを動かしている地点に立っているということ。自分たち発信に変えていこうということや。

小林 みんな島が好きなんですね。

恒賀 楽しいことな。盛り上がりらんよ。

小林 好きでやりたいと思うことが大事ですね。それが島の豊かさになるんじゃないかな。皆さん、ありがとうございました。

このサイズで
パワフルなサウンド。ワイレス ハンディ スピーカー
SOLEMATE MINI

「ジャブラ ソウルメイト ミニ」は、高性能でありながら耐久性を兼ね備え、ワイレスで気軽に持ち運びできるハンディスピーカーです。ポータブルなサイズを実感し、パワフルなサウンドを体感してください。



ブルー



レッド



ブラック

Bluetooth® NFC

スマートフォン、タブレット、その他のBluetooth®対応機器の音楽をワイレスで、手元で操作しながら気軽に楽しむことができます。またNFC対応のスマートフォンならペアリングもNFCゾーンにタッチするだけの簡単接続。



Jabra(GNネットコム)は
デンマークで140年以上の歴史を持つ企業です。

製品の詳細情報はこちらで検索!

www.jabra.jp

ジャブラ

検索

※掲載の写真の一部はイメージです。 GN ネットコムジャパン株式会社

ワイヤレスで、手軽に、自由に

NFCで簡単タッチ接続

いいね!

ツインスピーカーで大きく響く

キッチンでも携帯を使ってラジオが聴ける

パッシブ低音ラジエーターで低音も迫力あるサウンド

スピーカーフォン機能付きでハンズフリーで通話ができる

音楽再生 最長8時間

アウトドアでもみんなで音楽を楽しめる。

埃、汗、水しぶきにつよい 全面ラバーコーティング

ゲレンデやビーチなど汚れる場所でも心配なし

あとは音楽を楽しむだけ

原寸大!